

桂川の流路と東寺百合文書の絵図

2007/10/11

金田章裕 (京都大学)

- 1、山城国葛野郡の条里プラン
 - (1) 山城国葛野郡班田図
 - (1) 高粟田里、大豆田里、下原田里
- 2、9—10世紀の桂川
 - (1) 貞観13年(871)の太政官符
 - (2) 長徳3年(997)の上桂荘四至
- 3、14世紀の桂川
 - (1) 東寺百合文書山城国上桂荘差図
 - (2) 正和5年(1316)上桂荘実験取帳
 - (3) 空中写真に見られる旧河道
- 4、15—16世紀の用水路
 - (1) 教王護国寺文書山城国上桂荘差図
 - (2) 桂川用水差図案

<参考>

金田章裕 「平安初期における嵯峨野の開発と条里プラン」『追手門学院大学文学部紀要』12、1978

『条里と村落の歴史地理学研究』大明堂、1985

「桂川の河道変遷と東寺領上桂荘」『京都市歴史資料館紀要』10、1992

『微地形と中世村落』吉川弘文館、1993

「地形と土地利用の復元」『甦る平安京』京都市、1994

「郡・条里・交通路」『平安京提要』角川書店、1994

『古代景観史の探究』吉川弘文館、2002

『平安京-京都』(編著) 京都大学学術出版会、2007

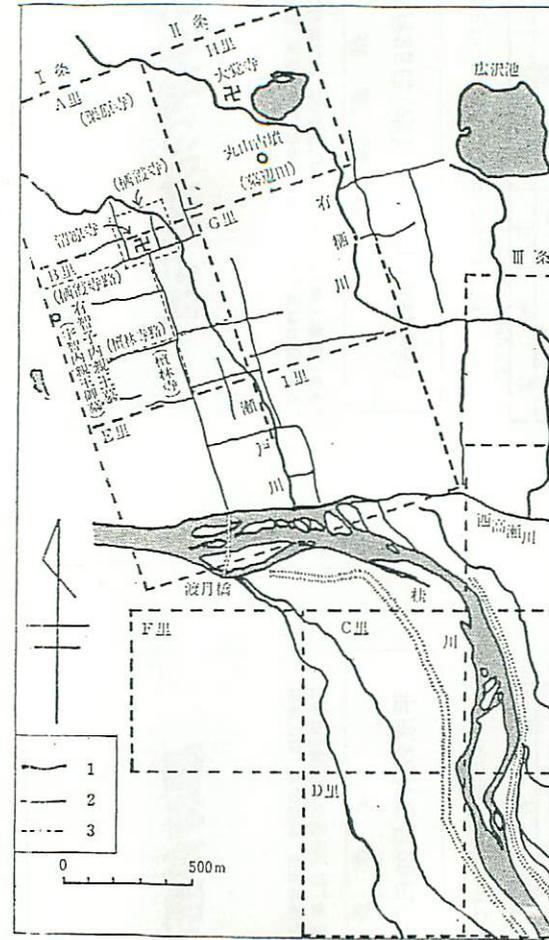


図2-7 葛野郡班田図の現地比定説明図
 A～Iは宮本論文による整理のための里付号 カッコ内は班田図の記載 1: 川・用水路(大正11年の状態) 2: 参考となる道路 3: 班田図に記載された路と境域

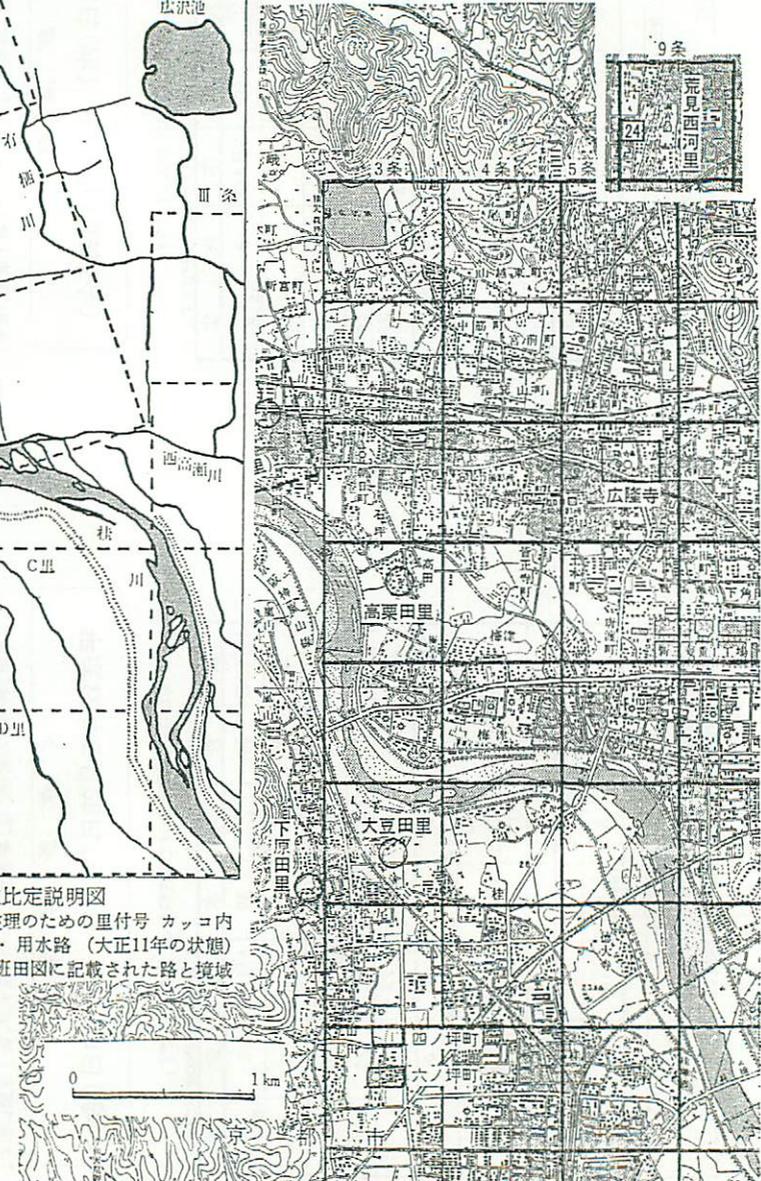


図2-8 山城国葛野郡の条里プラン(部分, 1・2条については図2-7参照)
 (○印は第四章第一節の家地事例所在坪)

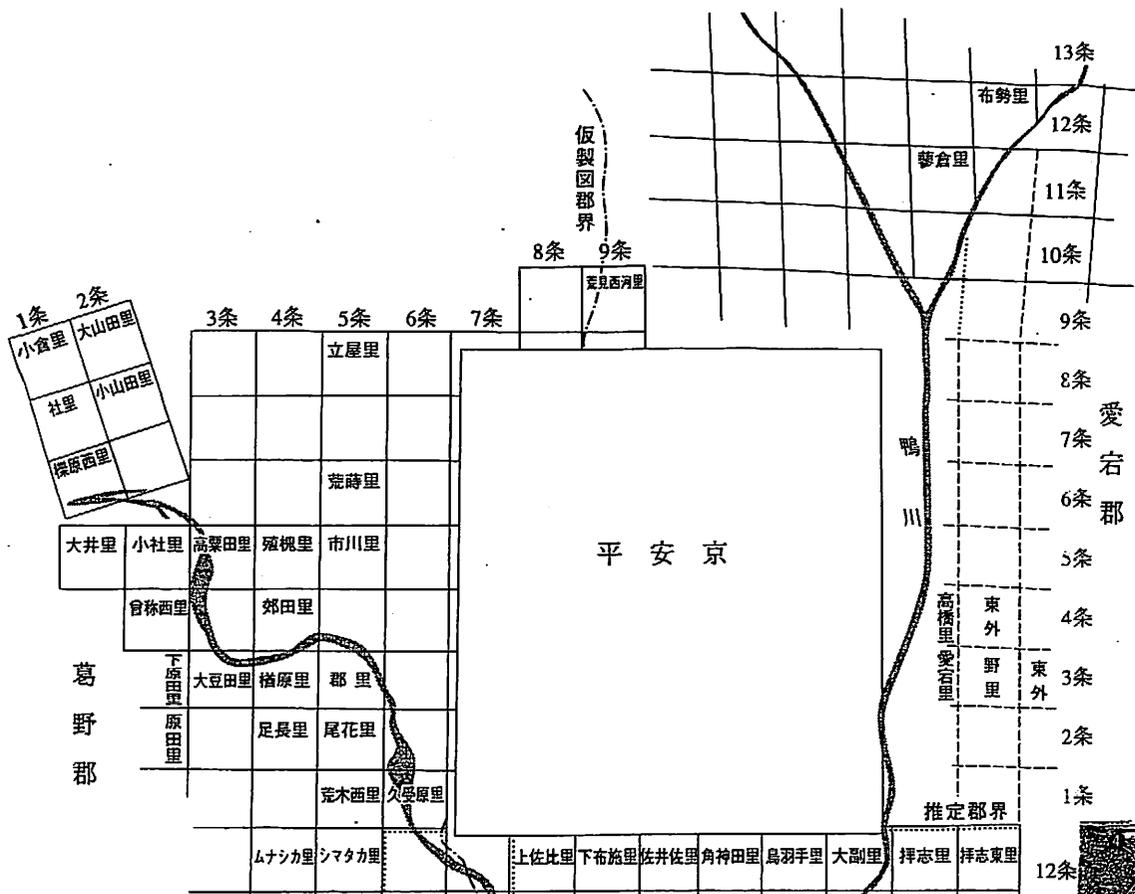


図2-9 葛野郡北西部の微地形と条里型地割の分布
 (微地形は1:25000土地条件図を簡略化)
 1:山地 2:上・中・下位洪積台地 3:低位洪積台地 4:扇状地・土石流堆積
 5:緩扇状地・谷底平野・開折谷 6:自然堤防 7:後背湿地・旧河道・現河床・盛土地
 8:川 9:条里型地割

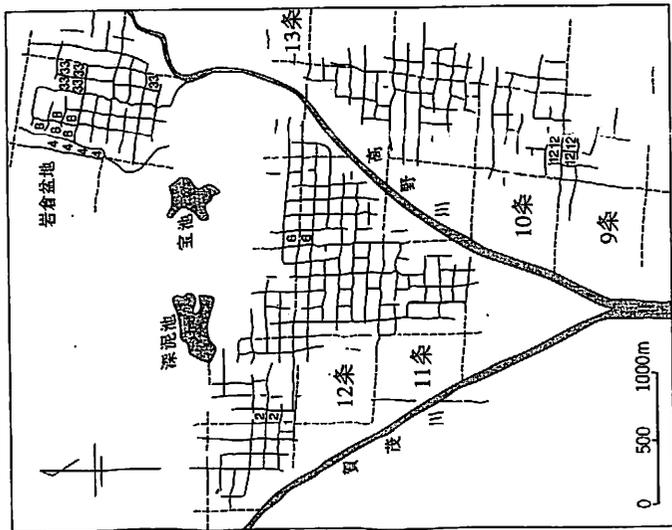
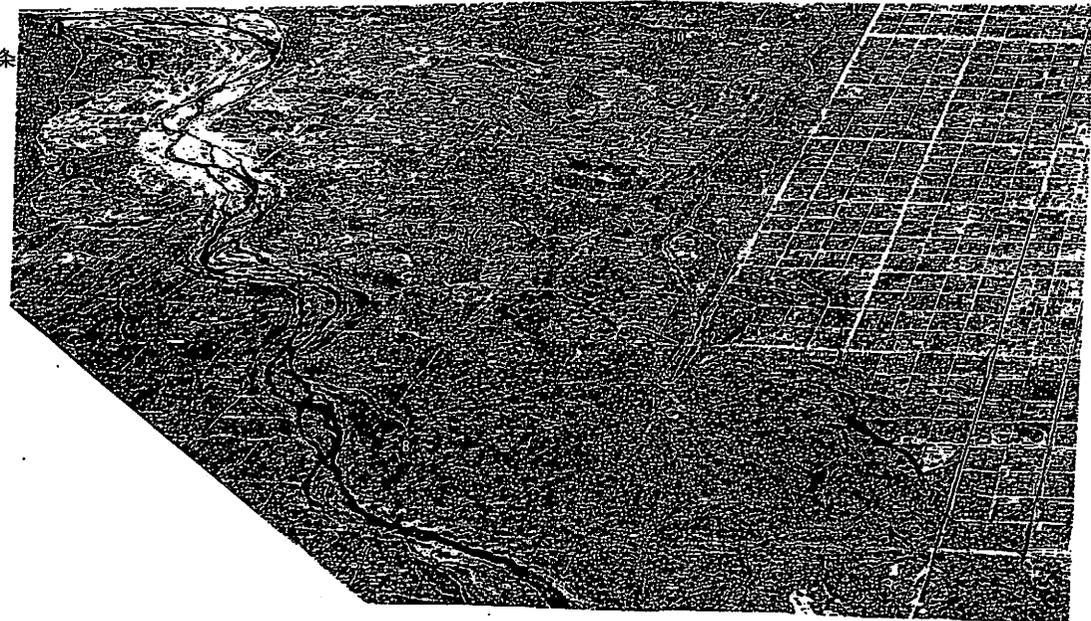
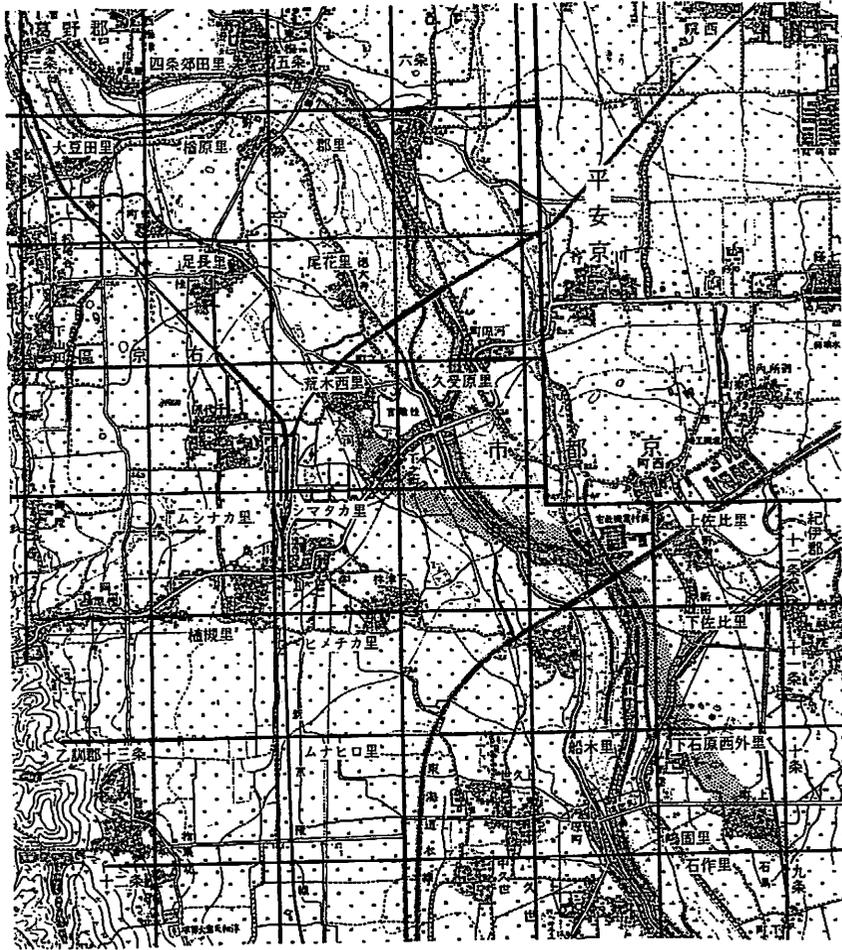


図2-12 愛宕郡北東部の条里プラン





第1図 平安京西南郊外の条里プランと9・10世紀の桂川河道

四至 東限 路并古河流末 西南並東大河
北限 京南大路西末并都田院南沼

限西 五本松下路 限北 河北梅津界大榎木

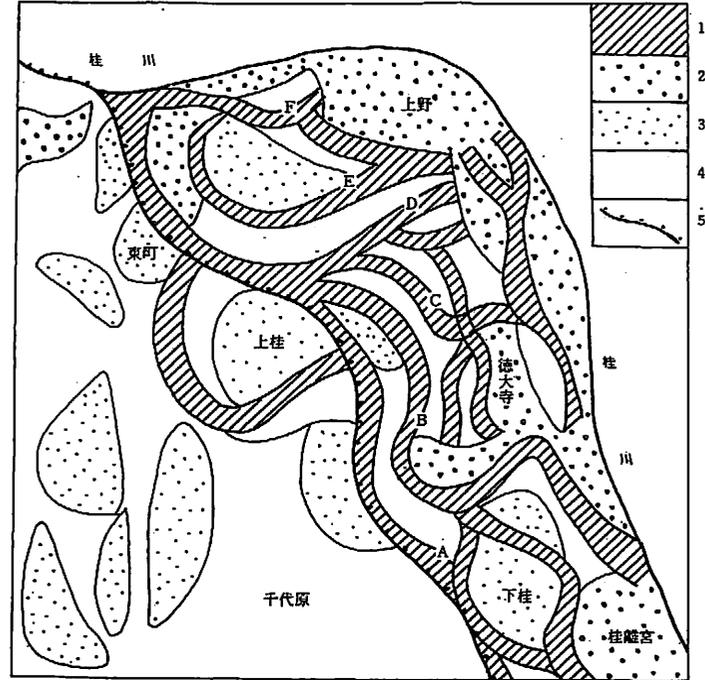
さて、長徳三年(九九七)の寄進状によれば、上桂荘の四至

限東 桂河東堤樹東 限南 他領入交

定 葬送并放牧地一事
山城国葛野郡 一处在五条荒木西里
四至 東限 西京極大路 西南限 大河一
北限 上件両里北畔
紀伊郡 一处在十條下石原西外里十一條
下佐比里十二條上佐比里

しなればならない。

九世紀ごろについてはさらに、貞観十三年(八七二)の太政官符



1. 明瞭な旧河道
2. 自然堤防などの微高地
3. 河間・中洲などに起因する微高地
4. 高水位時の河川敷、不明瞭な旧河道、不明部分など
5. 小崖

第2図 東寺領上桂荘比定地付近の旧河道

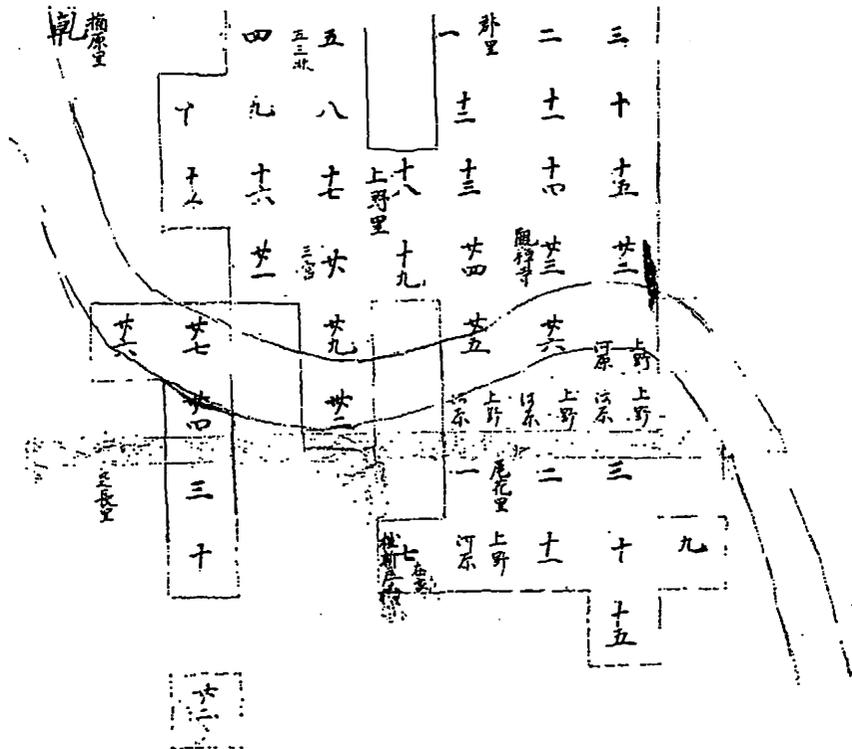
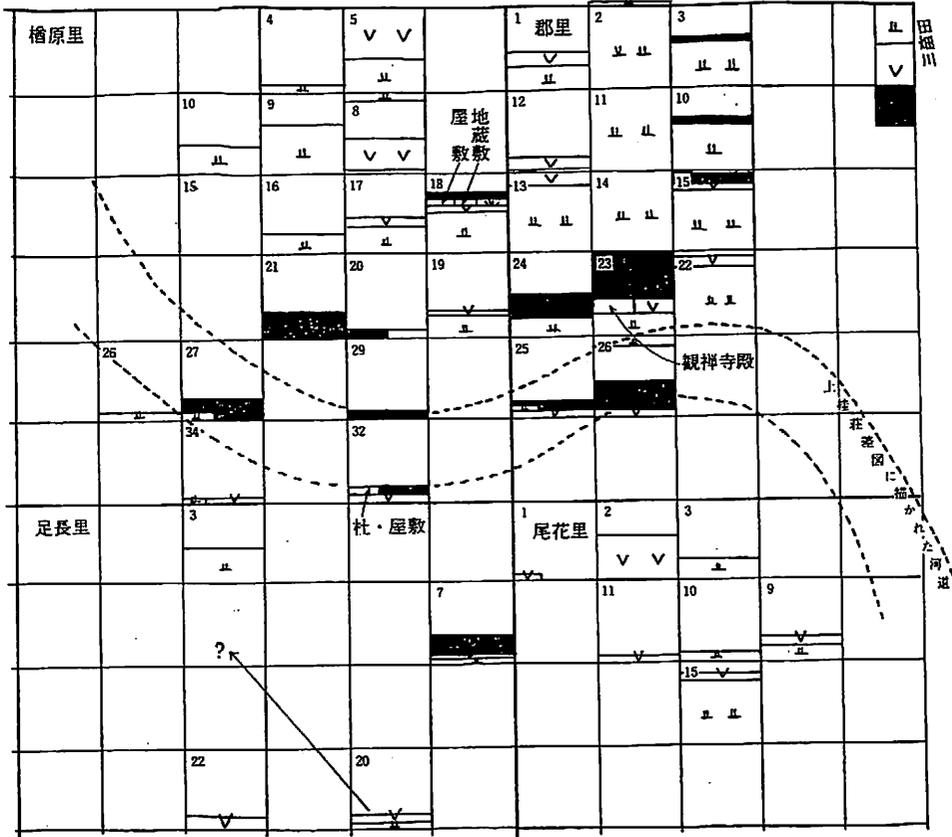


写真1 山城国上桂荘差図 (京都府立総合資料館蔵)



(田・畑・川などは坪内所在の面積を表現するもので、坪内の位置は不明)

第3図 正和5年(1316)上桂荘の土地利用

